

(別紙) 令和4年度 特別の教育課程(立川市民科)の実施状況等について

1. 学校名 立川市立第八小学校

2. 令和4年度 学校における自己評価(箇条書きでご記入ください。)

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材・企業を生かした教材開発ができた。 ・児童、保護者も地域への関心が高まった。 ・児童は普段から、安心・安全を意識し考えて行動しようとする姿も見られるようになった。 ・地域の中から、バリアフリーの工夫を見付けてくるなど、児童の地域への関心が高まった。 ・オンラインで相手と繋がることができ、相手意識を持って活動・発表することができた。また、全員が発表する機会があり、発表の経験をすることができた。
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度ご協力してくださった企業は、2年に一度の交流なので、来年度は新たな地域の人材・企業の教材開発をしなくてはならない。 ・取り扱う内容の中に、児童の実態に合わないものもあった。 ・1学期～2学期と、単元計画が学期をまたいでしまい、高まっていた関心や意欲が若干低下している児童の様子も見受けられた。

3. 令和4年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
43.1%	29.6%	13.4%	4.2%	9.6%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
43.0%	35.2%	2.0%	0.0%	19.9%